



2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月2日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第1四半期の連結業績（2024年5月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第1四半期	125,039	3.2	7,128	△28.7	7,219	△31.5	4,440	△35.0
2024年4月期第1四半期	121,154	7.0	9,992	66.5	10,536	57.2	6,828	61.9

(注1) 包括利益 2025年4月期第1四半期 4,539百万円 (△42.1%) 2024年4月期第1四半期 7,846百万円 (57.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	37.31	37.23
2024年4月期第1四半期	56.43	56.31

(注2) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第1四半期	352,501	180,119	50.7
2024年4月期	353,892	183,216	51.3

(参考) 自己資本 2025年4月期第1四半期 178,572百万円 2024年4月期 181,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2025年4月期	—	—	—	—	—
2025年4月期（予想）	—	22.00	—	22.00	44.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2025年4月期の連結業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	466,600	2.8	26,500	5.9	26,700	0.1	17,200	9.9	140.70

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年4月期1Q	88,212,380株	2024年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2025年4月期1Q	939,975株	2024年4月期	939,878株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年4月期1Q	87,720,092株	2024年4月期1Q	88,236,894株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下 (参考) をご覧ください。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	37.31	37.23
2024年4月期第1四半期	56.43	56.31

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2025年4月期	—				
2025年4月期(予想)		28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	152.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年4月期1Q 32,246,962株 2024年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2025年4月期1Q 1,443,985株 2024年4月期 2,943,655株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年4月期1Q 31,286,939株 2024年4月期1Q 32,757,192株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復が続くことが期待される一方で、エネルギー価格、原材料費の高騰及び為替変動による景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「今でもなお、お客様は何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高	1,250億39百万円（前年同期比3.2%増）
営業利益	71億28百万円（前年同期比28.7%減）
経常利益	72億19百万円（前年同期比31.5%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	44億40百万円（前年同期比35.0%減）

当社グループは、本年6月に2025年4月期から2029年4月期までを対象とする新たな「伊藤園グループ 中期経営計画」（以下、新・中期経営計画）を発表しました。

新・中期経営計画では、お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会を実現するため、2041年4月期の将来像実現に向けて、より迅速な事業展開を推進します。2022年6月に公表した中長期経営計画で掲げた「5つの重点戦略」の基本的な枠組みは変えずに、内容を更新及び拡充しました。当社グループは、「お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現」を使命として、「健康創造企業」をグループのミッションとして掲げています。新たに策定した新・中期経営計画に基づき、今後も「心身の健康」「社会の健康」「地球環境の健康」の価値創造に取り組む、お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

当社は、本年で創業60周年、「お〜いお茶」誕生35周年の節目を迎えました。今後、世界展開の一層の広がりや深化を進めていくにあたり、今までお茶が果たしてきた役割と、人々の生活に寄り添い続ける未来への展望をお伝えしていくことを使命として、「お茶」と「喫茶」という習慣の関連性や歴史を紐解き、お茶の未来を共創する拠点となる複合型博物館を5月に開設いたしました。本博物館は、喫茶習慣の変遷をテーマに「お茶の文化創造博物館」と「お〜いお茶ミュージアム」の二つの博物館で構成する国内でも珍しい複合型の博物館です。

「お茶の文化創造博物館」は、お茶の歴史をたどり、製法や飲み方の変化、自然と誕生した喫茶習慣について考えるための博物館であり、お茶を通じて日本文化を継承する役割を担います。また「お〜いお茶ミュージアム」は、時代や人々の生活の変化に寄り添ってきた「お〜いお茶」に焦点をあて、これまでのあゆみや未来への取り組みを伝えるミュージアムです。日本の近代を支えた鉄道の始まりの地とされる旧新橋停車場内でのオープンを通じて、お茶の魅力と喫茶のすばらしさを体験できる機会を提供し、「お茶」の価値をより一層高めてまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は1,122億7百万円（前年同期比2.2%増）となり、営業利益は60億87百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、日本の素材の魅力を伝えるプロジェクトとして、「FUN FAN JAPAN!」をスタートし、「宮崎県産 日向夏スワークル®」「宮崎県産 日向夏のシフォンケーキ」「彩り野菜と利尻昆布だしの和風ペペロンチーノ」などを季節限定で発売、ご好評をいただきました。また、初夏を彩る季節限定ドリンクとして、「メロンヨーグルトスワークル®」「&TEA ピーチフロズンティー」を発売し、爽やかでフルティな味わいが支持され、好調に推移しました。さらに、8月7日の創業日を記念し、日頃のお客様への感謝の気持ちを込めた商品として、コーヒー豆やグッズを詰め合わせた「27th Anniversary Happy Bag」や、焙煎の度合いで2つの味わいに仕上げた「タリーズアニバーサリーブレンド」を発売しました。新規出店におきましては、東海エリア初の「&TEA」業態店舗である「&TEA 名古屋ラシック店」をオープンし話題になるなど、順調に進み、2024年7月末の総店舗数は796店舗となっております。

この結果、飲食関連事業の売上高は106億9百万円（前年同期比10.2%増）となり、営業利益は10億52百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

<その他>

売上高は22億21百万円（前年同期比25.7%増）となり、営業利益は1億61百万円（前年同期比183.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は3,525億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億90百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が170億9百万円減少、「売掛金」が113億95百万円増加、「商品及び製品」が24億43百万円増加、「原材料及び貯蔵品」が15億85百万円増加したことによるものであります。

負債は1,723億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億5百万円増加いたしました。これは主に「買掛金」が59億96百万円増加、「賞与引当金」が22億19百万円減少、「未払費用」が19億63百万円増加、「未払法人税等」が19億34百万円減少したことによるものであります。

純資産は1,801億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億96百万円減少いたしました。これは主に「自己株式の消却」により「資本剰余金」及び「自己株式」が76億96百万円それぞれ減少、「自己株式の取得」により「自己株式」が45億87百万円増加、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が44億40百万円増加、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が26億98百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月期の業績予想につきましては、2024年6月3日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	109,313	92,304
受取手形	78	140
売掛金	62,352	73,748
商品及び製品	43,603	46,047
原材料及び貯蔵品	13,752	15,337
その他	14,868	14,950
貸倒引当金	△219	△253
流動資産合計	243,749	242,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,868	23,179
土地	23,154	23,047
リース資産(純額)	4,815	4,458
その他(純額)	23,197	23,646
有形固定資産合計	74,036	74,332
無形固定資産		
のれん	1,456	1,200
その他	5,654	5,638
無形固定資産合計	7,110	6,839
投資その他の資産		
その他	29,122	29,182
貸倒引当金	△127	△127
投資その他の資産合計	28,995	29,055
固定資産合計	110,142	110,226
資産合計	353,892	352,501
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,616	37,613
短期借入金	14,442	29,124
リース債務	1,682	1,579
未払費用	31,667	33,631
未払法人税等	4,972	3,037
賞与引当金	4,606	2,386
その他	7,677	7,260
流動負債合計	96,665	114,633
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	47,306	32,056
リース債務	2,572	2,254
退職給付に係る負債	7,511	7,531
その他	6,620	5,905
固定負債合計	74,010	57,748
負債合計	170,675	172,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,554	10,858
利益剰余金	149,154	150,896
自己株式	△9,480	△6,372
株主資本合計	178,141	175,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,849	1,992
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	7,046	6,845
退職給付に係る調整累計額	499	492
その他の包括利益累計額合計	3,342	3,277
新株予約権	104	104
非支配株主持分	1,627	1,442
純資産合計	183,216	180,119
負債純資産合計	353,892	352,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
売上高	121,154	125,039
売上原価	73,425	77,649
売上総利益	47,729	47,389
販売費及び一般管理費	37,737	40,260
営業利益	9,992	7,128
営業外収益		
受取利息	86	151
受取配当金	49	50
持分法による投資利益	46	51
為替差益	379	—
プリペイドカード失効益	54	32
その他	96	106
営業外収益合計	712	393
営業外費用		
支払利息	117	128
為替差損	—	62
リース解約損	9	72
その他	41	40
営業外費用合計	168	302
経常利益	10,536	7,219
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産廃棄損	35	46
減損損失	11	0
投資有価証券評価損	—	3
退職給付制度改定損	80	—
特別損失合計	128	50
税金等調整前四半期純利益	10,409	7,169
法人税等	3,494	2,641
四半期純利益	6,914	4,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,828	4,440

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	6,914	4,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	115
為替換算調整勘定	905	△139
退職給付に係る調整額	△117	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	42
その他の包括利益合計	932	11
四半期包括利益	7,846	4,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,730	4,375
非支配株主に係る四半期包括利益	115	164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)**(自己株式の取得)**

当社は、2024年5月30日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月4日から2024年6月13日の間に普通株式1,000,000株を取得しました。また、2024年7月26日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月29日に第1種優先株式500,000株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が45億87百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2024年5月30日及び2024年7月26日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月31日に普通株式1,000,000株、第1種優先株式2,000,000株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式が76億96百万円それぞれ減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)**(税金費用の計算)**

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)**(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)**

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	2,060百万円	2,093百万円
のれんの償却額	269百万円	255百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	109,760	9,626	1,767	121,154	—	121,154
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	153	0	660	814	△814	—
計	109,913	9,626	2,428	121,969	△814	121,154
セグメント利益	9,144	953	56	10,154	△162	9,992

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△247百万円、セグメント間取引84百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	112,207	10,609	2,221	125,039	—	125,039
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	290	0	720	1,011	△1,011	—
計	112,498	10,609	2,942	126,050	△1,011	125,039
セグメント利益	6,087	1,052	161	7,302	△173	7,128

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△247百万円、セグメント間取引73百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。